

中央社保協ニュース

18-9号 発行・2019年7月30日 中央社会保障推進協議会

中央社保学校 in かなざわ 魅力の分科会紹介② 参加申込み締切・8月15日。急いで！

第47回中央社保学校は、8月29日～31日に金沢市で開催されます。今回の「社保学校」の魅力のひとつが、2日目(30日)の分科会、貧困シンポです。

引き続き2人の講師の方から各分科会、貧困シンポジウムにのぞむ抱負を語っていただきました。是非とも、中央社保学校に参加していただきお会いしましょう！

参議院選挙で9議席減で単独過半数を失った自民党・安倍政権ですが、今後更なる社会保障解体へと突き進もうとしています。学習を力に、この秋、地域からのたたかいを広げて行きましょう。

参加申込みは、8月15日締め切りです。社保協ホームページから申し込み用紙をダウンロードをしていただき、FAXまたはメールにて申し込んでください。
ホームページはコチラから⇒



2日目 テーマ別 分科会 9:00開場 9:30～12:00 [会場] 金沢商工会議所会館 金沢市尾山町9-13

| | | |
|--|---|--|
| <p>分科会 1</p> <p>社会保障入門講座 (会場は石川県教育会館会議室)</p> <p>講師 鈴木 静氏 愛媛大学教授</p> | <p>分科会 2</p> <p>介護保険の現状と対抗軸 — 介護保障に向けて</p> <p>講師 井口克郎氏 神戸大学准教授</p> | <p>分科会 3</p> <p>医療制度改革の 現状と対抗軸</p> <p>講師 工藤浩司氏 石川県保険医協会事務局長</p> |
| <p>分科会 4</p> <p>年金制度について： 最低保障年金制度の 第3次提言を学ぶ</p> <p>講師 加納 忠氏 全日本年金者組合大阪府本部長</p> | <p>分科会 5</p> <p>生活保護は人間らしく 生きるための砦</p> <p>講師 村田隆史氏 青森県立保健大学講師</p> | <p>分科会 6</p> <p>社会保障としての 国民健康保険を学ぶ</p> <p>講師 長友薫輝氏 三重短期大学教授</p> |

分科会 2・井口克郎さん・・・介護保険の現状と対抗軸-介護保障に向けて

近年、社会保障の「改革」が進められる中、介護を必要とする人々やその家族の生活条件は全体的に良くなったでしょうか。介護保険制度は、サービスの利用制限や自己負担増が進められ、保険料も上昇しています。また「一億総活躍社会」のかけ声の下、若年層には仕事も家庭での介護も両方担うことが求められるという過酷な状況です。さらに、地方過疎地を典型に、地域に十分な事業所がなく必要なサービスを受けられない人々も存在し、住み続けられないといった問題も深刻です。



国は、介護保険サービスや社会保障費の抑制を進める中で、全国各地で「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。このシステムは介護領域においては「自助」「互助」、ボランティアによる見守りやケアを進めているのが特徴です。また、介護費用を抑制するために様々な「予防」活動を通じて「健康寿命延伸」が推奨されています。

しかし、これらはよく考えるとかなり実現困難なミッションではないでしょうか？多くの地域では「自助」「互助」、ボランティアによるケアと言っても、その担い手となる地域住民自体が高齢化や健康悪化、また仕事の多忙で余裕がなく限界が見られます。また、「予防」「健康寿命延伸」による介護費用抑制とは一体何を意味するのでしょうか・・・？本分科会では、近年の国の介護政策の動向を検討しながら、その問題点や限界を共有し、その上で真の介護保障に向けて、わたしたち市民当事者のニーズに基づいた人権としての介護保障制度の具体像を議論・展望できればと思います。

その際に、ぜひ共有したいと思っているのが、憲法および、国連の国際人権規約（社会権規約）が国に対しその実現を求めている「健康権」です。国の進める「地域包括ケアシステム」を超えた（もしくは代わる）、健康権としての介護保障制度とはどのようなものか、皆さんと一緒に展望できればと思います。

分科会 6・長友薫輝さん・・・社会保障としての国民健康保険を学ぶ



国民健康保険は 2018 年度から都道府県も保険者となり、大きく変わりました。制度改正によって保険料水準がどのように変わったのでしょうか。2018 年度決算は今年 9 月頃に明らかとなります。地域で実態を知ることが重要です。

また、都道府県が策定している国保運営方針は 3 年ごとに検証がなされます。今年度中には検証作業がスタートします。インセンティブ（誘導型報奨）政策の保険者努力支援制度の内容については、国と地方の協議の場で検討され、法定外繰入れの解消の評価指標にマイナス点を設定するなどの変更が想定されています。

保険者である自治体（都道府県・市町村）が、地域の医療保障、健康権保障をどのように進めるべきか、各地の実態とともに交流する場となれば幸いです。

貧困シンポジウム・長友薫輝さん…基調講演

最低賃金は1000円をなかなか越えず、事業者には消費税増税やインボイス方式の導入が予定されています。貧困が深刻化するような政策ではなく、地域の貧困を解消するとともに、消費購買力を引き上げる政策展開を期待しています。

「働き方改革」によって推進されている副業・兼業については、「複数職場の労働時間は通算する」という労働基準法の規定を削除する案が7月末にまとめられています。これでは、本業と副業を合わせて過労死ラインを超える長時間労働が可能となってしまいます。

「働き方改革」は働く人々が心に体に無理をせず、生活を営むことができるような仕組みを構築するものでなければなりません。働く人々が生活のためにダブルワーク、トリプルワークをしなければならない現状は異常な状態ではないでしょうか。

子どもから高齢者まで、多くの人々に起きている貧困を解消する取り組みが必要です。シンポジウムでは、北陸3県から報告をいただき、みなさんとともにどのような取り組みが必要かを考える契機としたいと考えています。

《中央社保学校 in かなざわの概要》

1日目 8/29 木 13:00 開場 13:30~17:00

学習講演 【会場】石川県教育会館

1 「憲法9条を巡る情勢と私たちの課題」
講師 小森陽一氏（日本文学者／東京大学教授 2019年3月迄）

2 「平和的生存権——人権としての社会保障の現状と私たちの課題」
講師 井上英夫氏（法学者／金沢大学名誉教授）

講演後 フロア質疑 & 小森氏井上氏 対談

2日目 8/30 金 9:00 開場 9:30~16:30

テーマ別分科会 【会場】裏面
各分科会の詳細は裏面をご覧ください

貧困問題シンポジウム 13:30~16:30 【会場】石川県教育会館
総合司会 鈴木 静氏（愛媛大学教授）

1 基調講演
講師 長友薫輝氏（三重短期大学教授）

2 シンポジウム
福井・富山・石川 3県からの報告

3日目 8/31 土 9:00 開場 9:30~12:00

市民公開講座 【会場】石川県教育会館

「消費税と社会保障」
講師 斎藤貴男氏（ジャーナリスト）

明日からの運動に役立つ企画がいっぱい、
職場・地域から誘い合って参加しましう！

1. 参加費
【29・30日】1日 **2000円**
【31日】**500円**

2. 参加・宿泊申し込み
参加・宿泊（各自または紹介）申し込みは別紙にて申し込み下さい。
詳細は公式HPをご覧ください。
中央社保 検索